

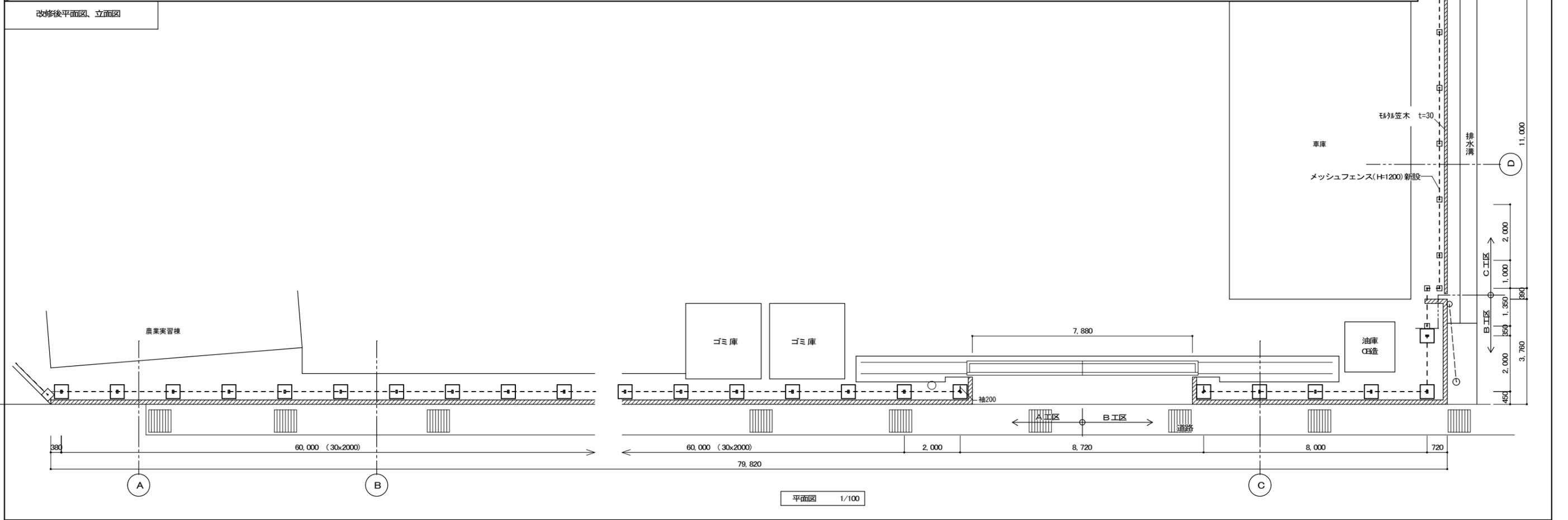
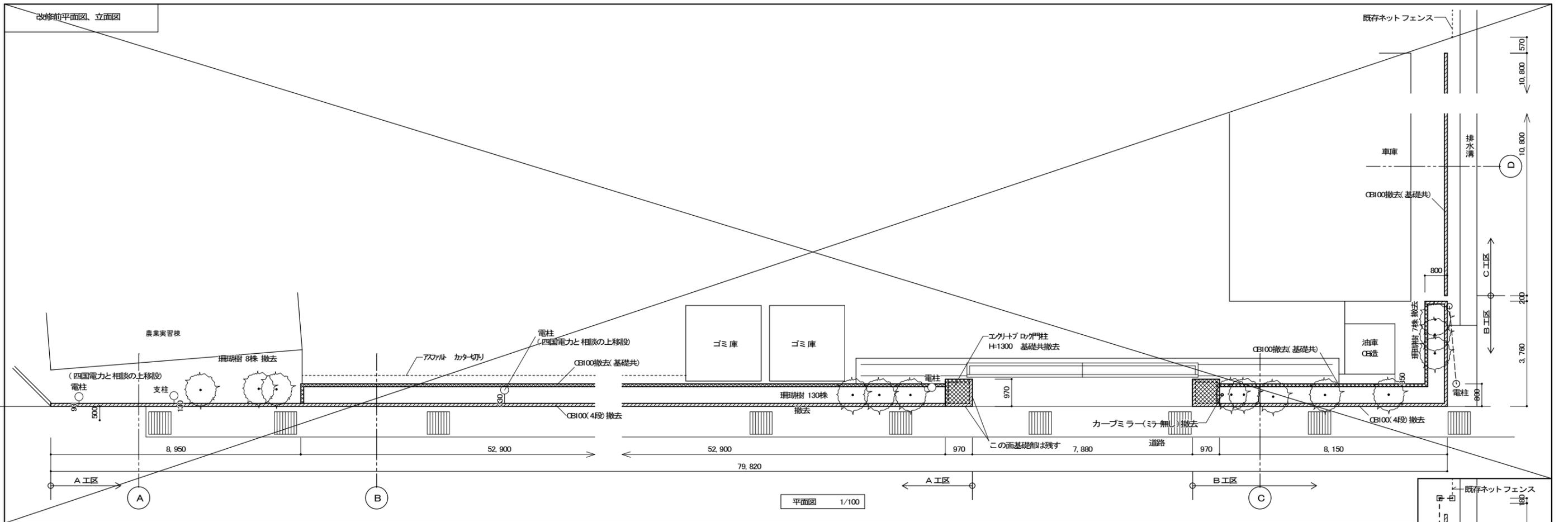
R 1 営繕 吉野川高等学校土成農場 阿波・土成 フェンス設置工事

目 次

DB-01	特記仕様書 1 (吉野川高等学校土成農場)
DB-02	特記仕様書 2 (吉野川高等学校土成農場)
DB-03	特記仕様書 3 (吉野川高等学校土成農場)
DB-04	付近見取図、配置図、仮設計画参考図 (吉野川高等学校土成農場)
DB-05	平面図 (吉野川高等学校土成農場)
DB-06	立面図 (吉野川高等学校土成農場)
DB-07	詳細図 (吉野川高等学校土成農場)
DB-08	参考図 (吉野川高等学校土成農場)

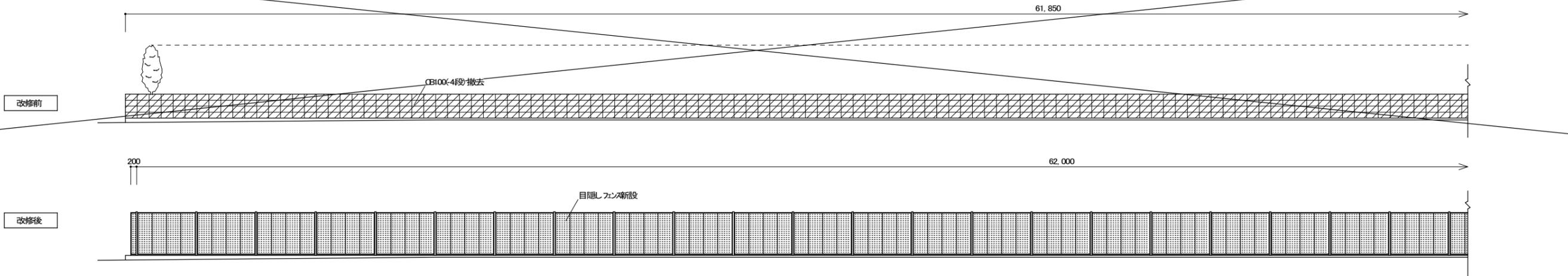
課長	副課長	課長補佐	係長	課員	課員	担当

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																										
7章 コンクリート工事	<p>1. 一般事項</p> <p>◎設計基準強度</p> <table border="1"> <tr> <th>コンクリートの種類</th> <th>設計基準強度 F_c(N/mm²)</th> <th>調合管理 強度 F_n(N/mm²)</th> <th>スランブ (cm)</th> <th>強度試験の 有無</th> <th>種別</th> <th>気乾単位 容積重量 (t/m³)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>21</td> <td>21+S</td> <td>18</td> <td>有</td> <td></td> <td>2.3</td> <td>基礎、塀</td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>15</td> <td>無</td> <td></td> <td></td> <td>捨てコン</td> </tr> </table> <p>◎構造体コンクリートの調合管理強度は、設計基準強度(F_c)に構造体強度補正值(S)を加えた値とする。 なお、構造体強度補正值(S)は、標仕 表6.3.2によりセメントの種類及びコンクリートの打込みから材齢28日までの予想平均気温に応じて定める。</p> <p>◎コンクリートの強度試験 コンクリートの強度試験については、次のとおり取扱うものとする。 ・第4週強度確認 原則、公共試験機関にて、主任技術者又は現場代理人立会いの上、行うこと。 ただし、公共試験機関以外で行う場合は、工事監理者又は監督員立会いの上、行うこととする。 なお、試験機関を選定した際には、すみやかに監督員に報告すること。</p> <p>2. コンクリートの仕上がり</p> <p>◎コンクリート部材の位置及び断面寸法の許容値は、標仕 表6.2.3による。</p> <p>◎合板せき板を用いる打放し上げの種別は(A・B・C)種とする。</p> <p>◎コンクリートの仕上りの平たんさは標仕 表6.2.5による。</p> <p>3. 普通コンクリート</p> <p>◎セメントの種類は、(普通ポルトランドセメント)・混合セメントA種・高炉セメントB種・フライアッシュセメントB種)とする。</p> <p>◎骨材は、標仕6.3.1(b)による。</p> <p>◎細骨材としてフェロニッケルスラグ使用(できる・(できない))。</p> <p>◎細骨材に含まれる塩化物量は、NaCl換算で0.04%以下とする。</p> <p>◎コンクリート中の塩化物量は、0.3kg/m³以下とし、試験方法は標仕6.5.4による。</p> <p>◎試験りは(行う・(行わない))。</p> <p>◎所要空気量は4.5%±1.5%とする。</p> <p>◎受注者は、コンクリートの使用にあたってアルカリ骨材反応を抑制するため、次の3つの対策の中のいずれか1つについて確認をとらなければならない。 (1) コンクリート中のアルカリ総量の抑制 アルカリ量が表示されたポルトランドセメント等を使用し、コンクリート1m³に含まれるアルカリ総量をNa₂O換算で3.0kg以下にする。 (2) 抑制効果のある混合セメント等の使用 JIS R 5211高炉セメントに適合する高炉セメント [B種またはC種] あるいはJIS R 5213フライアッシュセメントに適合するフライアッシュセメント [B種またはC種] もしくは混和材をポルトランドセメントに混入した結合材でアルカリ骨材反応抑制効果の確認されたものを使用する。 (3) 安全と認められる骨材の使用 骨材のアルカリシリカ反応性試験(化学法またはモルタルバー法)の結果で無害と確認された骨材を使用する。 試験方法は、JIS A 1145骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(化学法)またはJIS A 5308(レディミクストコンクリート)の付属書7「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(化学法)」、JIS A 1146骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(モルタルバー法)またはJIS A 5308(レディミクストコンクリート)の付属書8「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(モルタルバー法)」による。</p> <p>◎混和材料を使用する場合の種類は標仕6.3.1(d)によることとし、監督員の承諾を受けること。</p> <p>◎コンクリートの打継ぎ目地の寸法は、標仕9.7.3〔目地寸法〕(a) (1)による。</p> <p>4. レディミクストコンクリート 工場の指定</p> <p>◎工事開始に先立ち、工場を選定し、監督職員の承諾を受ける。</p> <p>5. 型枠</p> <p>◎型枠は、(県産木製型枠)・(合板)・金属製・樹脂系・打込み型枠・ブロック)とする。</p> <table border="1"> <tr> <th>型枠の種類</th> <th>仕上げ種別</th> <th>塗装の有無</th> <th>材質</th> <th>厚さ</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>県産木製型枠</td> <td>—</td> <td>なし</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6.8.3 (b) (1)</td> <td>A 種</td> <td>なし</td> <td>合板</td> <td></td> <td>基礎・壁</td> </tr> </table>	コンクリートの種類	設計基準強度 F _c (N/mm ²)	調合管理 強度 F _n (N/mm ²)	スランブ (cm)	強度試験の 有無	種別	気乾単位 容積重量 (t/m ³)	適用箇所	普通	21	21+S	18	有		2.3	基礎、塀	普通	18	18	15	無			捨てコン	型枠の種類	仕上げ種別	塗装の有無	材質	厚さ	適用箇所	県産木製型枠	—	なし				6.8.3 (b) (1)	A 種	なし	合板		基礎・壁	9章 困障工事	<p>1. フェンス</p> <p>◎フェンスの種類</p> <p>・目かくしフェンス 主柱 □100×50×2.3 (STKR400) 胴縁 t=1.6 (SGMH490) 縦枠 t=0.8 (SGMH400) 中間縦枠 t=1.6 (SGMC400) パネル t=0.6 塗装：外装は亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉末塗装とする。 但し、ボルト・ナットは溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理とする。 ・メッシュフェンス 柱：φ50・8×1・6 亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉末塗装 ワイヤメッシュ、胴縁は亜鉛めっきの上高耐候性樹脂粉末塗装 ボルト・ナットは溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理</p>		
コンクリートの種類	設計基準強度 F _c (N/mm ²)	調合管理 強度 F _n (N/mm ²)	スランブ (cm)	強度試験の 有無	種別	気乾単位 容積重量 (t/m ³)	適用箇所																																								
普通	21	21+S	18	有		2.3	基礎、塀																																								
普通	18	18	15	無			捨てコン																																								
型枠の種類	仕上げ種別	塗装の有無	材質	厚さ	適用箇所																																										
県産木製型枠	—	なし																																													
6.8.3 (b) (1)	A 種	なし	合板		基礎・壁																																										
		10章 舗装工事	<p>1. 路盤</p> <p>◎路盤材料(再生砕石RC-40)、車道部の厚さは(100)mm</p> <p>◎締固め試験は(行う・(行わない))。</p> <p>◎路盤の厚さは、設計厚さを下回らないこととする。</p> <p>2. アスファルト舗装</p> <table border="1"> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>部位</th> <th>舗装の厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>蜜粒度アスファルト舗装</td> <td>敷地内車路</td> <td>50</td> </tr> </table> <p>◎舗装の平坦性は、通行の支障となる水たまりを生じない程度とする。</p>	舗装の種類	部位	舗装の厚さ(mm)	蜜粒度アスファルト舗装	敷地内車路	50																																						
舗装の種類	部位	舗装の厚さ(mm)																																													
蜜粒度アスファルト舗装	敷地内車路	50																																													
8章 左官工事	<p>1. 一般事項</p> <p>◎下地調整に用いる吸水調整材の使用方法は、製造所の仕様による。</p> <p>◎コンクリート等面の下地及び各塗り層は、清掃のうえ適度の水湿しを行って、次の層の塗り方にかかる。</p> <p>2. モルタル塗り</p> <p>◎ 笠木モルタル塗りのモルタル材料は共仕15.2.2による。</p>																																														

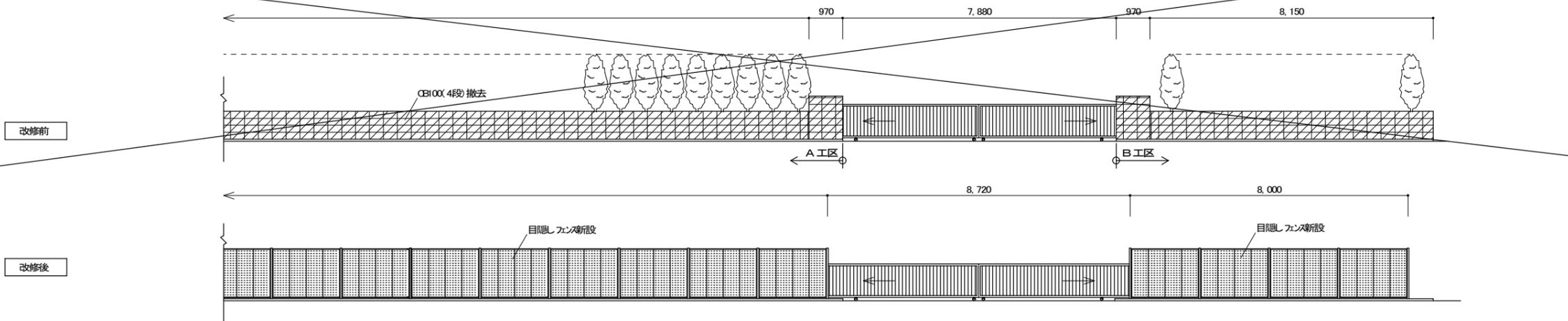


徳島県土整備部営繕課	S&A設計一級建築士事務所 森 宏 文 1級建築士登録 第126287号 TEL・FAX 0884-49-1511	●工事名 R1 営繕 吉野川高等学校土成農場 阿波・土成 フェンス設置工事 ●図面名 平面図 (吉野川高等学校土成農場)	●縮尺 1/100	●図面番号 DB-05
------------	--	---	--------------	----------------

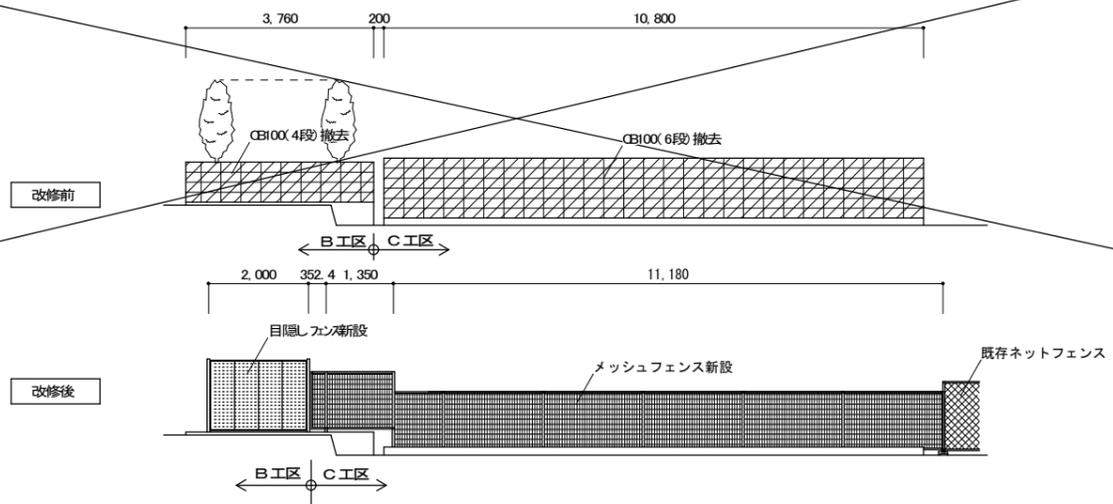
A 工区 立面図 1/100

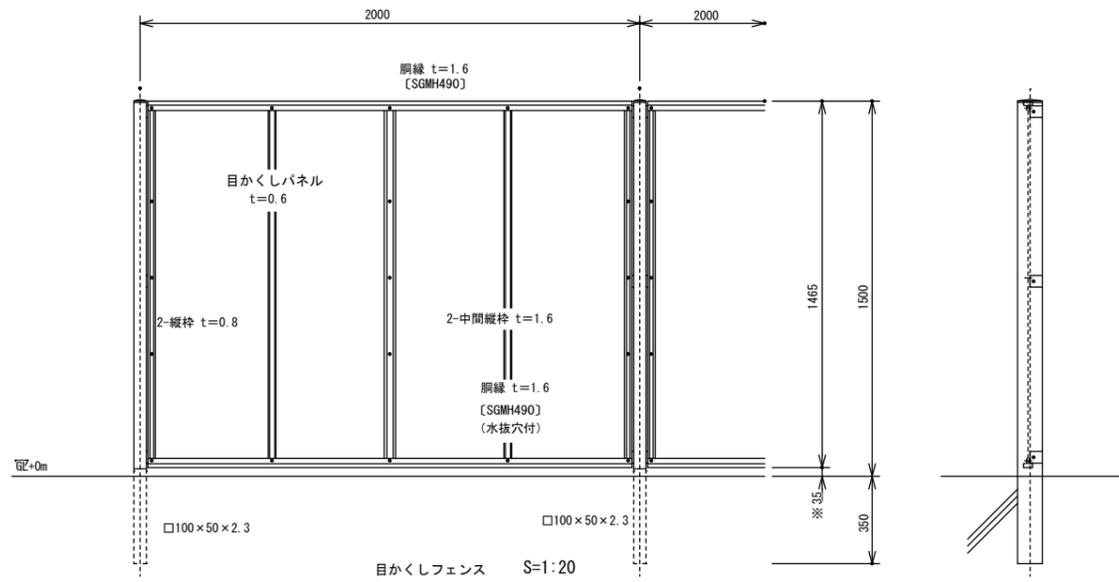


A, B 工区 立面図 1/100

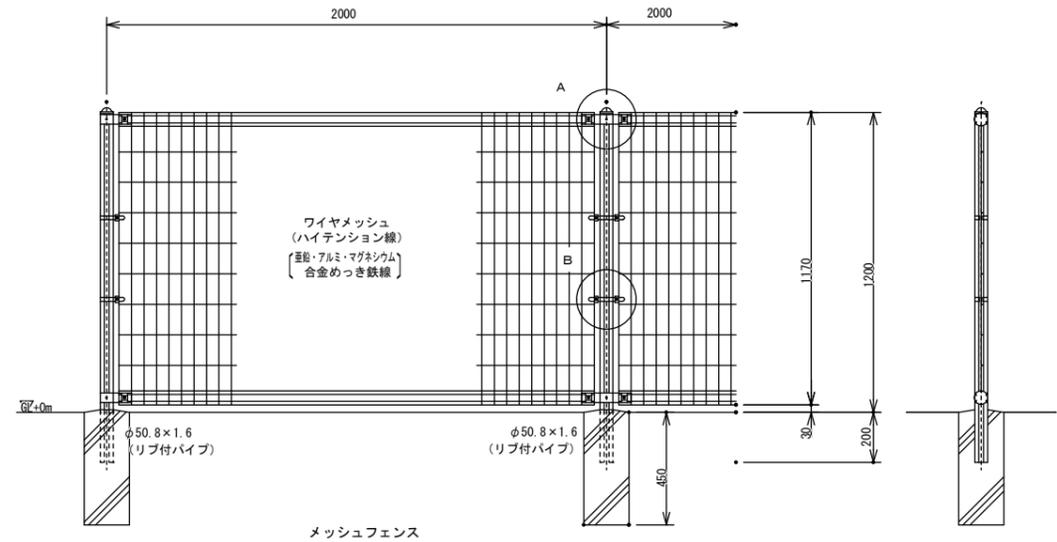
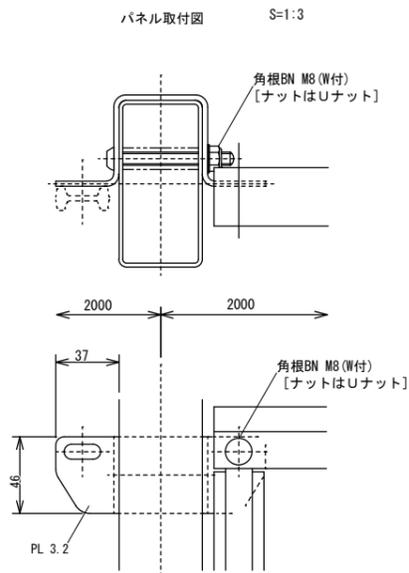
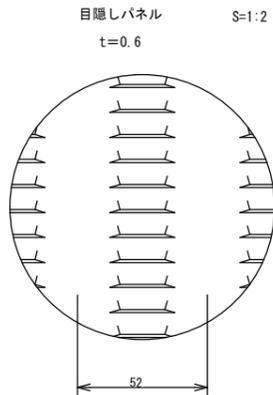
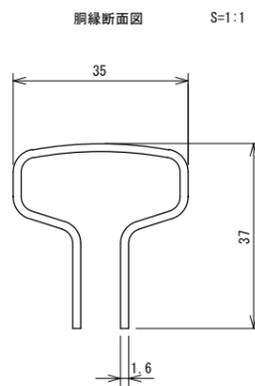


B, C 工区 立面図 1/100

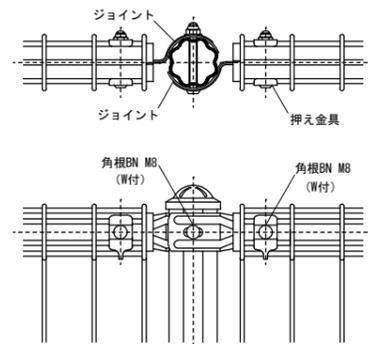




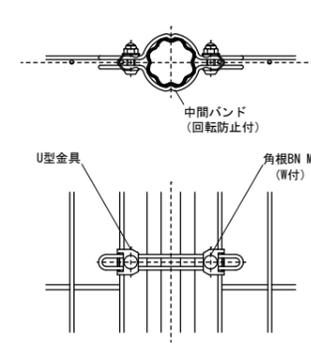
※建築基準法・同施行令（平成12年6月）に基づく風圧力に依る
 ※基準風速 36m/sec 地表面粗度区分Ⅲ GL+0m
 1. 外装は亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装とする。但し、ボルト・ナットは溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理とする。
 2. 目隠しパネルの目の向きは指示に依る。



A部取付図 S=1:5

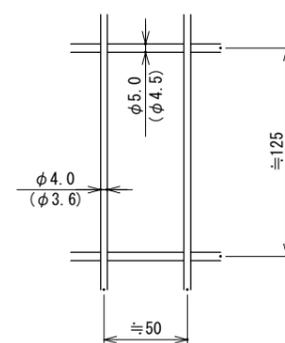


B部取付図 S=1:5

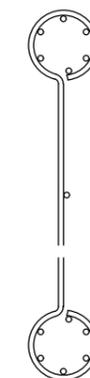


建築基準法・同施行令（平成12年6月）に基づく風圧力に依る
 基準風速 36m/sec 地表面粗度区分Ⅲ GL+0m
 1. 外装について
 ・支柱、ジョイント } 亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
 ・ワイヤメッシュ }
 ・バンド } 亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
 ・U型金具 } 亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上防錆着色処理
 ・ボルト、ナット } 溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理

ワイヤメッシュ図 () 内は芯径を示す。



パネル断面図



リブ付パイプ断面図

